

# シルバー やまがた

第135号 令和元年7月1日発行

(公社)山形市シルバー人材センター  
正会員数1,095名 賛助会員 37個人・70団体(5月末現在)



よりあい農園の作業風景

## —— 内容紹介 ——

P2 令和元年度定時総会あいさつ  
P3 令和元年度定時総会を開催  
P4 平成30年度事業実績報告  
令和元年度重点課題と事業計画  
P5 表彰状受賞者名簿  
P6 新役員紹介  
P7 地区世話役・会員互助会幹事紹介

P8～9 会員のひろば  
P10 安全適正就業強化月間  
わが街自慢  
P11 就業会員を訪ねて  
新入会員紹介  
P12 事務局だより

ホームページでもご覧いただけます。

山形市シルバー人材センター

検索

# 令和元年度定時総会あいさつ

理事長 長 瀬 洋 男

昭和五十五年に設立した当センターも、今年新たな元号を迎えて、令和元年度定時総会を開催することができました。これも、公益社団法人山形市シルバー人材センター事業に対する、会員の皆様、賛助会員の皆様、並びにご来賓の方々の、格別のご協力とご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

平成三十年度末の会員数は、平成二十九年度から七十四名増の千六百六十名とすることができました。一層会員拡大に取り組んでいた成果であり、全国的に会員数が伸び悩んでいるセンターも多い中、会員の皆様のご協力に重ねて感謝申し上げます。

平成三十年度の受託事業収益は四億四千八百万円を超えて四年続きの増加となりました。派遣事業等受託収益は一割程度の減となりましたが、受託件数は増加させることができました。その結果、経常収益と経常費用の差である当期経常増減額は、お陰様で黒字となったところであります。

山形市の高齢化率は平成三十年十月

には二十八・七%となり、令和七年九月には三十一%に達すると見込まれます。労働力人口が減少し、人手不足が顕在化するなか、高齢者の就業に対する期待も一層高まり、国は生涯現役を推奨し、シルバー人材センターには意欲や能力に応じた多様な就業機会を提供していくことが求められています。

今年度は、当センターの「新中期事業計画」の最終年として、「自主・自立、共働・共助」を基に、事業の質的向上と量的拡大を推進してまいります。また、厚生労働省の委託事業の「やまがた生涯現役促進地域連携事業」に、今年度も引き続き取り組んでまいります。

平成三十年度は一件事故が発生してしまいました。改めて事故ゼロを目標に、安全意識の徹底に取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。

今後も、関係各位のご支援、ご協力をお願い申し上げます。皆様のご健康を祈念申し上げます。



総会風景

# 令和元年度定時総会を開催 平成30年度決算など全議案を承認

六月十二日（水）、令和元年度定時総会がホテルメトロポリタン山形において、会員一七六名の出席のもと開催されました。委任状七二三名と合わせて総数八九九名となり、会員総数の八十二％に達し、総会は成立し盛況に行われました。樋口副理事長の力強い開催のあいさつの辞が述べられ、長瀬理事長のあいさつに続いて、長年にわたり当センターに貢献された役員・正副班長及び組長・会員の表彰が行なわれました。来賓として山形市議会議長、山形公共職業安定所所長から暖かい激励の祝辞をいただきました。

この後、議長に金井地区の山口重雄会員を選出し議事が進められました。

最初に「平成三十年年度収支補正予算について」・「平成三十年度事業報告について」・「令和元年度事業計画について」・「令和元年度収支予算について」の四件の報告案件が報告されました。次に「平成三十年度収支決算について」ならびに「役員の選任について」の審議がなされ、両案とも満場一致で採択され、令和元年度定時総会は終了しました。



役員表彰者



正副班長及び組長表彰者



議長



会員表彰者

## 平成30年度 事業実績報告

経済環境は緩やかな回復基調が続いており、雇用情勢は大きく改善する一方で、企業における人手不足が顕在化しています。このような中、シルバー人材センターに寄せる地域社会の期待は一層大きくなっています。

平成30年度事業実績

センターの地域における存在意義を高め、積極的な事業運営を行うためには会員の拡大が不可欠であることから、全シ協の「会員100万人達成計画」に合わせて会員拡大に努め、平成30年度末は74人増の1,160人にすることができました。

項目	30年度実績	29年度実績	比較
正会員数	1,160人	1,086人	74人
契約金額	448,510千円	441,338千円	7,172千円
就業延人数	110,685人	133,718人	△23,033人
受託件数	5,062件	5,108件	△46件
派遣事業契約金額	76,323千円	84,849千円	△8,526千円

請負事業の契約金額は、平成30年度も順調に伸びる結果となりました。就業延人員はカウント方法の変更により減となっております。派遣事業については、大口の派遣先の就業廃止により実績は減少となりましたが、大型スーパー等の新規受注の開拓等もあり、受託件数は増加しました。（詳しくは令和元年度定時総会議案書をご参照ください。）

## 令和元年度 重点課題と事業計画

山形市の高齢者人口は、令和7年度末は73,334人（高齢化率31.0%）に達すると見込まれ、高齢化はますます進むことが予想されます。労働力人口が減少していく中、社会を支える立場であり続ける高年齢者を増やすことが急務になっております。このため、シルバー人材センター事業の役割は重要性を増し、就業機会の拡大・職域の拡大と併せ、積極的な会員拡大を図る必要があります。

安全就業については、昨年度は残念ながら1件の事故が発生しましたが、一昨年事故件数からは削減することが出来ました。「事故ゼロ」達成に向けて、今年度も継続して取り組んでいくことが重要になります。

また、平成26年に策定された「新中期事業計画」は、令和元年度が最終年にあたることから、策定委員会を中心として新たな中期事業計画の策定を進めてまいります。

（事業計画や予算等、詳しくは令和元年度定時総会議案書をご参照ください。）

令和元年度年間事業計画

### 重点課題

1. 会員拡大と退会会員の歯止め
2. 受注作業の迅速化
3. 就業機会の拡大と受注件数の増加
4. 会員組織の充実と活性化
5. 現役世代支援事業への取り組み
6. 安全就業推進体制の強化
7. 公益社団法人としての機能強化
8. 経営の効率化と財源の確保

4月	自転車即売会	9月	地区研修会 自転車即売会
5月	自転車即売会	10月	全国普及啓発促進月間 清掃奉仕活動 創作品展示即売会
6月	令和元年度定時総会 世話役会 自転車即売会		
7月	全国安全就業強化月間 安全標語募集 安全パトロール 自転車即売会	11月	ブロック研修会
		12月	世話役会
8月	安全講習会	1月	
9月	世話役会 新入会員研修会	2月	新入会員研修会
		3月	世話役会 自転車即売会

# 表彰状受賞者名簿

## 1. 役員表彰 (2名)

役員として、2期以上にわたりセンター発展に多大なる貢献し、退任される方

職名	氏名	職名	氏名
副理事長	樋口 健一	理事	加藤 芳男

## 2. 正副班長及び組長表彰 (6名)

地区班 正副班長及び組長として、5年以上在任し、退任される方

地区名	氏名	地区名	氏名
第3地区	清水 勇	南山形・本沢地区	塩野 邦雄
西地区	古郡 興二郎	南沼原地区	穴戸 良一
第10地区	鈴木 荘一	西部地区	渡辺 和夫

## 3. 会員表彰 (72名)

会員として、5年以上在籍し、積極的に就業に励み、その業績が顕著であり、正副班長の推薦を受けた70歳を超えた方

地区名	氏名	地区名	氏名	地区名	氏名
第2地区	熊倉 進	鈴川3地区	庄司 豊	金井地区	柿崎 千恵子
〃	今野 久美子	〃	柳谷 利一	〃	五十嵐 マサ子
〃	山口 隆三	〃	安田 林作	〃	南 荘介
第3地区	日下部 武	千歳地区	渡辺 久子	〃	大宮 和彦
〃	志田 健司	〃	小林 全	〃	石川 廣司
〃	西塔 嵩芳	飯塚・樫沢地区	遠藤 繁治	楯山地区	森谷 とし子
〃	志鎌 一夫	〃	安達 寛	蔵王地区	金原 正
〃	原田 充啓	〃	相沢 英章	〃	城 義禅
第4地区	草壁 衛	〃	渡辺 敏	〃	小高 寿美恵
〃	西村 信治	〃	神保 恵子	〃	武田 正一
〃	伊藤 是直	〃	大江 茂夫	〃	横山 和雄
〃	朝一 悦子	東沢地区	江口 善吉	南山形・本沢地区	會田 由美
第5地区	三條 悦郎	〃	櫻井 政美	〃	長澤 榮三郎
〃	高橋 祐治	〃	佐藤 伸一	〃	落合 米男
〃	菖蒲 完治	〃	佐藤 芳和	〃	田嶋 喜代
第6地区	布施 道弘	〃	佐藤 勉	〃	奥山 賢
西地区	佐々木 良樹	滝山1地区	岡崎 繁	〃	塩野 美智子
第9地区	丸子 俊信	〃	横山 巖太	〃	齋藤 武至
第10地区	鈴木 恒男	〃	大場 政敏	〃	古内 藤一
〃	高橋 宏一	出羽・明治地区	中村 勝	南沼原地区	土屋 富雄
鈴川2地区	渡邊 孝	〃	石山 征子	〃	日詰 敏男
〃	岩田 好春	〃	丸子 米子	〃	細谷 信昭
〃	三沢 市夫	金井地区	高田 さと子	〃	加藤 裕
鈴川3地区	渡邊 悟	〃	平野 一男	西部地区	大滝 忠行

新役員紹介

理事会



理事長(代表理事)  
長瀬洋男  
(市推薦)



副理事長(代表理事)  
本木康晴  
(滝山一地区)



常務理事(業務執行理事)  
黒田芳広  
(市推薦)



理事  
土田郁子  
(市推薦)



理事  
鞠子克己  
(市社会福祉協議会推薦)



理事  
古里薫  
(市都市振興公社推薦)



理事  
那須博  
(第六地区)



理事  
高野昭英  
(西部地区)



理事  
結城正夫  
(滝山一地区)



理事  
佐藤明  
(第六地区)



理事  
齋藤英夫  
(第四地区)



理事  
塩野美智子  
(南山形・本沢地区)



理事  
安達つや子  
(金井地区)



理事  
会田健治  
(東沢地区)



理事  
成田 徹  
(南沼原地区)



監事  
相沢英章  
(飯塚・榎沢地区)



監事  
佐藤利彦  
(滝山一地区)

専門部会

◎は部会長および委員長  
○は副部会長および副委員長

総務部会

◎ 本木康晴  
◎ 那須博  
○ 山口重雄  
○ 三浦正昭  
○ 板垣源太郎  
○ 福田美知子  
○ 土田郁子

事業部会

◎ 高野昭英  
◎ 結城正夫  
◎ 安部正次  
◎ 伊藤繁安  
◎ 岸野栄一  
◎ 鹿野薫  
◎ 古里薫

広報部会

◎ 佐藤明  
◎ 齋藤英夫  
◎ 伊藤光夫  
◎ 深瀬江里子  
◎ 高橋俊  
◎ 菅井和廣  
◎ 高橋俊二

女性部会

◎ 塩野美智子  
◎ 安達つや子  
◎ 設楽みつ子  
◎ 高田さと子  
◎ 小林久子  
◎ 小林海子  
◎ 東海れい子  
◎ 大友智恵子

安全就業推進委員会

◎ 会田健治  
◎ 成田 徹  
◎ 山崎正弘  
◎ 武田征雄  
◎ 尾崎秀吉  
◎ 加藤政夫  
◎ 八嶋國夫  
◎ 井上たみ  
◎ 鞠子克己



感謝の心をもって



南山形・本沢地区  
尾形 博

私の仕事先は山形市上反田に

ある「小規模特別養護老人ホーム大曾根」です。入所者三十名とデイサービス等の利用者がいるケアセンターが併設された施設です。周囲は大曾根コミュニティセンターや山形市立大曾根小学校がある閑静な高台にある農村地帯です。山形市内が一望できる環境にあります。

勤務時間は夕方五時半から翌朝八時半迄で三日に一度三名で交代勤務をしています。又午後十一時から翌朝五時まで仮眠する事が出来ますが、緊急時は起きて来館者等への対応をします。

仕事は電話対応と清掃、それに夜と朝の二回戸締りを確認する屋外巡回等です。この四月で二年目になります。

私が特に心掛けているのは、決められた仕事を誠実に実行する事は当然ですが、何か一つプラスアルファの仕事をさせて頂く事です。又、挨拶と電話対応も意識してしっかり取り組んでいます。

職員の方々や利用者、来館者等への挨拶、又、電話も施設への第一印象となるのできちんと対応するように努めています。最後に、仕事先は施設長を初め若い事務職員・介護専門職員の方々を利用者第一に真心込め

て取り組まれており、又職場環境も良く働きやすい職場であり大変感謝しております。

何か一つを



金井地区  
山口 重雄

平成最後の月に古稀を迎え、令和最初の月に医療費負担が三割から二割になる旨の通知を受け、高齢者の認識を深くした。

子供達も独立して親元を離れ、刺激もない単調な日々を過ごしていた約三年位前に、何か一つの事と思い書を始めた。昔、職場の書道教室で習っていたこともあり、道具も先生の指導法も記憶に残っていたが、認知症予防に、そして、心が変われば行動が変わる、行動が変われば習慣が変わる、習慣が変われば人格が変わる、人格が変われば

運命が変わるの法則が決定的な後押しとなった。

あくまでも趣味の一環で自己流であるが、呼吸を整え、臍下丹田に力を込め、精神を集中した後の充足感は何物にも代えがたい。何よりも、姿勢が良くなった事が一番の収穫と自己評価している。

長い人生航路で、身体のあちこちがガタつき複数の医療機関巡りをしているが、幸い軽症に推移している。これからの残りの人生にどういう答が待っているかわからないが、このまま書物を続けていこうと思っている。

ちよっとひとこきふりかえり

滝山二地区 白田 幸枝

気付いたら定年を迎えていた、そんな状況でひたすら働き詰めの四十数年でした。

定年を一緒に迎えた夫と大好





# 多員の

## 健康・趣味

きな城巡りをあちこち出掛けては次の計画へと残りの人生を大いに満喫していた矢先、夫が病に侵され突然彼の地へと旅立ってしまいました。

右往左往している時、目に止まったのが「シルバー人材センター」という文字でした。机上職しか経験のない自分に果たして?という思いもありましたが、何か目的を持たないと強い思いに駆られて登録しました。

会員となり就いた業務は学童保育補助の仕事。初めは元気いっぱいの大勢の子供達に圧倒

され戸惑いましたが、今では子供達のフレッシュなエネルギーや笑顔を貰え、気持ちは勿論、体力面も充実してきて生きがいも感じられる昨今となりました。地域への奉仕活動である福祉協力員として年配者との交流も交えながら日々多忙に過ごしています。

これも健康であるからでこそこの事、令和という新しい時代に向けて何か発信していきたい、健康と夫の与えてくれた時間に感謝しながら日々精進していると思います。

### 旅によせて



鈴川三地区  
會田千嘉子

令和初の互助会行事日帰り旅行が、五月十七日に行われました。今回は、新潟県の「笹川流

れ」への旅です。好天に恵まれ、朝七時三十分には会員三十一名、事務局二名、旅企画の添乗員さん・運転手さんの総勢三十五名でセンター前を出発しました。鶴岡インターより新緑の山々を眺め、雄大な日本海に粟島を見つけ、全長十一キロの笹川流れの景観に満足している間に、遊覧船乗り場に到着しました。

お天気は最高、波おだやかで絶好の遊覧日和でした。数々の奇岩を楽しみながら、船の中ではカモメに「カップえびせん」をエサに、写真を撮るのに苦労をしている方たちもおり、和やかなうちに四十分の遊覧を終えました。続いて観音寺に向かい、住職のお話を聞き、最後の即身仏・仏海和尚さんを拝ませてくださいました。そして最終目的地、岩船港鮮魚センター二階の「番屋」にて皆さん少し遅い昼食をいただきました。食後は一

階の鮮魚センターにてお買い物ツアー。それぞれご家族へのお土産に、ご自分の旅の思い出に買われているようでした。互助会行事は会員の親睦を図る場所だと思しますので、多くの方の参加で楽しみたいと思います。



集合写真

# 安全・適正就業強化月間

安全就業推進委員会 委員長 会田 健治

令和元年スローガン『事故防止急ぐなあせるな気を抜くな!』

平成二十八年年度より、三年間

事故0を目標に事故防止活動を取り組んでまいりましたが、初年度は0件で推移したが、二年目は五件の事故が発生し、三年目は三月上旬まで0件で推移しておりましたが残念ながら就業中に事故が起きてしまい、事故ゼロは達成できませんでした。

本年度は令和元年という新たなスタートとして会員各自が事故やけがの発生した原因を意識し、ゆとりを持って安全第一を最優先しながら、就業先の事故やケガのない職場環境づくりが大切だと考えております。そのため、各地区班及び職群班とともに連携協力を密にし事故防止活動に取り組んでまいりたいと考えています。全国のシルバー人材センターで発生した事故の状況を見ますと、就業中と通勤時の事故の件数が増加傾向にあると報告を受けています。

さて、七月は「全国安全・適正就業強化月間」として一日〜三十一日までの間、全シ協・各地区SCがそれぞれ連携し強化

## 【取り組み事項】

- 一 安全就業推進委員会の開催
- 二 事故ゼロを目指した活動の推進
- 三 定期パトロール、不定期パトロールの実施
- 四 安全保護具の完全着用徹底（安全帽・安全帯等の装着）
- 五 機械器具、安全保護具の点検整備
- 六 緊急連絡カードの携帯徹底
- 七 安全意識の高揚策の充実
- 八 安全標語の募集と優秀作品の表彰
- 九 安全に対する体験発表会の開催
- 十 「安全就業推進委員会だより」の発行で事故防止の喚起
- 十一 会員の健康管理意識高揚として総合健診の受診の推奨
- 十二 就業途上における交通事故防止
- 十三 交通安全講習会及び交通安全対策の徹底
- 十四 自動車、徒歩、自転車、バイクでの事故防止の徹底

## 地域紹介

# わが街自慢



## 第六地区

丸山 正弘

山形城の南、鉄砲町に広い境内に樹齢数百年という巨木が数多くそびえ立ち、生気に満ちた山形南総鎮守 六榎八幡宮があります。

は六月三十日まで設置しています。例祭は九月十五日。こども神輿と担ぎ神輿が賑やかに威勢よく町内を練り歩きます。

創建は奈良時代。歴代山形藩主より社殿・本殿などの造営、寄進を受け厚く崇敬されてきました。年中の祭事・神事には総代会と青年会が奉仕活動をしています。

大晦日の年越しは、一年の無事に感謝して大祓い。そしてカウントダウンが終わると初詣。巫女さんと笑顔でお迎えします。お願い事には住所・名前をお忘れなく。

六月十五日は夏越の祓いの神事。前半年の無事に感謝し後半年の無事を祈って茅の輪をくぐります。

わが街自慢は、雨の日も雪の日も古き伝統を守り抜く団結力です。

茅は、旺盛な生命力と神秘的な除災の力を有すると考えられてきました。県内外からも多くの参拝者が訪れ、テレビの取材もあって夕方の番組で紹介されています。茅の輪



夏越の祓

# 就業会員を訪ねて

吉田 正・海銓 敏広  
霞城公園東大手門櫓案内監視等業務

霞城公園東大手門を訪ね、リーダーの吉田さんについて伺いました。期間は四月五日から十一月四日まで。東大手門櫓の来場者に対する案内監視等の業務で、一班二名、三班六名で就業。時間は通常期は九時十五分から十六時十五分。櫓門扉の開閉、清掃等の施設管理。本丸内出入口の開閉等が主な業務です。

夏季や桜開花時は閉門を一時間遅らせる。満開時は二十一時迄開場し、一日の来場者数が五千人にもなり、応対やスリッパの準備で、会場内、南門と北門間を走り回る事もあります。

百名城のスタンプを求め、遠路はるばる来場される方もあり、開場を融通しサービスに心掛けています。館内は風通しが良く、四月と十一月は防寒着で寒さを凌いでいます。就業者が全員顔を合わせる事が無いので、年三回懇親会をし、全員が一つになって頑張っています。

貴重な時間、取材に応じて頂き有り難う御座いました。(取材・広報部)

昨今の「お城ブーム」で、鹿児島から北海道まで全国から来場者が見学に訪れます。中には、お城について詳しい方もおられ、櫓の組み方についてや、狭間の有り無し等専門的な質問があり戸惑う場合もあります。間違ったお答えも出来ないもので、詳しいことを求められた場合はガイドさんをご紹介します。



就業中の吉田リーダー海銓さん

## 新入会員紹介

第一地区	山本 宜子	鈴川三地区	鈴木 好子
第二地区	齊藤 敏一	鈴川二地区	大久保 絹代
第三地区	中西 桂子	鈴川一地区	加藤 充康
第四地区	矢作 恵子	山本 一地区	鈴木 恭子
第五地区	行仕 まゆみ	山本 二地区	加藤 典昭
第六地区	石川 孝吉	山本 三地区	齋藤 幸二
第七地区	後藤 浩子	山本 四地区	渡部 幸二
第八地区	片山 忠悦	山本 五地区	東海林 美枝子
第九地区	長橋 和男	山本 六地区	飯塚 榎沢地区
第十地区	和藤 一雄	山本 七地区	東沢 地区
第十一地区	佐藤 忠明	山本 八地区	滝山一地区
第十二地区	榎本 恵子	山本 九地区	滝山二地区
第十三地区	榎本 恵子	山本 十地区	出羽・明治地区
第十四地区	榎本 恵子	山本 十一地区	金井地区
第十五地区	榎本 恵子	山本 十二地区	大郷地区
第十六地区	榎本 恵子	山本 十三地区	山寺・高瀬地区
第十七地区	榎本 恵子	山本 十四地区	楯山地区
第十八地区	榎本 恵子	山本 十五地区	蔵王地区
第十九地区	榎本 恵子	山本 十六地区	南山形・本沢地区
第二十地区	榎本 恵子	山本 十七地区	南沼原地区
第二十一地区	榎本 恵子	山本 十八地区	西部地区
第二十二地区	榎本 恵子	山本 十九地区	黒田 栄
第二十三地区	榎本 恵子	山本 二十地区	市川 和夫
第二十四地区	榎本 恵子	山本 二十一地区	五十嵐 菊子
第二十五地区	榎本 恵子	山本 二十二地区	佐藤 知博
第二十六地区	榎本 恵子	山本 二十三地区	柏田 祐治
第二十七地区	榎本 恵子	山本 二十四地区	板垣 芳之
第二十八地区	榎本 恵子	山本 二十五地区	志田 省三
第二十九地区	榎本 恵子	山本 二十六地区	山口 喜代子
第三十地区	榎本 恵子	山本 二十七地区	村岡 哲夫
第三十一地区	榎本 恵子	山本 二十八地区	石川 哲夫
第三十二地区	榎本 恵子	山本 二十九地区	桑野 照雄
第三十三地区	榎本 恵子	山本 三十地区	斎藤 繁義
第三十四地区	榎本 恵子	山本 三十一地区	伊藤 照雄
第三十五地区	榎本 恵子	山本 三十二地区	武田 智子
第三十六地区	榎本 恵子	山本 三十三地区	栗原 米子
第三十七地区	榎本 恵子	山本 三十四地区	武田 俊一
第三十八地区	榎本 恵子	山本 三十五地区	阿部 昭治
第三十九地区	榎本 恵子	山本 三十六地区	田中 和子
第四十地区	榎本 恵子	山本 三十七地区	柴田 景子
第四十一地区	榎本 恵子	山本 三十八地区	森 美咲
第四十二地区	榎本 恵子	山本 三十九地区	佐竹 文子
第四十三地区	榎本 恵子	山本 四十地区	佐竹 安男
第四十四地区	榎本 恵子	山本 四十一地区	押切 侖子
第四十五地区	榎本 恵子	山本 四十二地区	眞見 アツ子
第四十六地区	榎本 恵子	山本 四十三地区	鈴木 健治
第四十七地区	榎本 恵子	山本 四十四地区	岡崎 正俊
第四十八地区	榎本 恵子	山本 四十五地区	會田 美枝子
第四十九地区	榎本 恵子	山本 四十六地区	東海林 美枝子
第五十地区	榎本 恵子	山本 四十七地区	渡部 幸二
第五十一地区	榎本 恵子	山本 四十八地区	齋藤 幸二
第五十二地区	榎本 恵子	山本 四十九地区	鈴木 典昭
第五十三地区	榎本 恵子	山本 五十地区	加藤 恭子
第五十四地区	榎本 恵子	山本 五十一地区	鈴木 充康
第五十五地区	榎本 恵子	山本 五十二地区	大久保 絹代
第五十六地区	榎本 恵子	山本 五十三地区	鈴木 好子

# 事務局だより

(協)山形市シルバー人材センター

山形市双葉町一丁目二番三号  
電話(〇三三)六四七六六四七

## 新事務局職員紹介



嘱託職員  
金子 暁子



嘱託職員  
高橋 沙織

## 行事イベント案内

### 安全標語表彰・安全講習会

日時：令和元年八月五日(月)  
午前十時より  
場所：山形テルサ三階  
アップローズ

安全意識の向上を図るため、安全標語を募集し、優秀作品を表彰します。  
また、当日は安全就業に関する講演会を予定しています。

## お知らせとお願い



### 配分金支払日

- 七月十九日(金)
- 八月二十日(火)
- 九月二十日(金)

### 入会説明会(午後一時三十分)

会員の皆さんからも入会の勧誘をお願いします。

- 七月四日(木) 十一日(木)
- 十八日(木)
- 八月一日(木) 八日(木)
- 二十二日(木)
- 九月五日(木) 十二日(木)
- 十九日(木)
- 就業相談日(午後一時三十分)**  
(就業に関しての相談です)
- 七月十日(水)
- 八月七日(水)
- 九月十一日(水)

## 事務局紹介

常務理事兼事務局長	黒田 芳広
業務課長	菅野 千春
<b>業務係</b>	
業務主任	平田 悦一
主任	原田 弘之
就業機会創出員	吉田 和志
嘱託職員	高橋 沙織
<b>総務係</b>	
係長	斎藤 康子
嘱託職員	渡辺 初美
嘱託職員	金子 暁子

シルバーやまがた一三四号一頁  
表紙写真説明の訂正について

前号で掲載しました表紙写真の説明について、誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

誤：「霞城公園 桜まつり」  
正：「南陽市烏帽子山公園 桜まつり」

## あとがき

山形駅東口に立ち、駅ビルを背に東の彼方を見ると、とんがった山並みが目に入ってきます。山形市のランドマーク(目印・象徴)たる賈戸山です。盆地の山形市は四方が山だらけ、私などは目に入る山の形で方角を判断していることもあるくらいです。

「シルバーやまがた」前号の発行時、その山々は俳句の季語でいう「山笑う」でした。新芽が出て草木が萌え始める山の様子を表しています。そして、この号の発行時に山々は瑞々しい元気な木々を表す「山滴る」の季語の時期となっています。

私達シルバー会員は、若い人、働き盛りの人々にとってランドマークの「山」でありたいと思っております。太古の昔から変わらぬ姿の山々のように、どっしりとおらかな存在として後輩たちの目標や指針になりたいと。

そのためには「山滴る」のごとく瑞々しさを保っていかねばならないと自制しているところです。くれぐれも枯れ木の静かな冬の山を表す季語「山眠る」となりませんように。